

ピアホームだより

2015. 1. 10

新年に寄せて

早いもので、グループホームでの新年も6回目となりました。この小さな空間から思いのままに様々な発信をし、人との繋がりを楽しんでいます。

娘の病気は重くて如何ともし難いのですが、それがきっかけで迷うことなく今の道にまい進することができました。

私のような凡人が、定年後をこんな形である意味豊かに過ごしていることを考えると、天に感謝しなければならないのかもしれませんが、娘は、犠牲となってそれを与えてくれた—と考えるべきなのでしょうか？

普通ならもう孫がいて、新しい家族関係の中で喜び・悲しみを味わっている年齢—我が家は時計が止まってしまっているものの、家族3人濃密な生活を送っています。

いつか終りが来る一日増しに現実味を帯びる将来に対する大きな不安。そして、統合失調症と言う病気は甘くないという現実。お薬やリハビリである程度コントロール出来て来たものの、社会復帰して働いていますという魔法の世界？はまだまだ遠くにあります。

今より悪くならないように懸命に生きる—それをどうにか支えることが出来ますように——。親亡き後も、障害を持った者たちが助け合って生活する—そんな場所がつかれないものか？でも、我が娘は障害者の仲間にも入れない現実。齢を重ね、自らの存立を考えなければいけない状況が迫り、これから、真剣に娘の生きる場所を考える時が迫って来ました。

いつしか、こんな文章を書いてしまいました。私には逃れられない悩みあるということです。同じ悩みを共有し、いつ解決するともない闘いを余儀なくされている家族の皆さん！！決して負けない！最期まで諦めない！

今年の目標

幸い、アドボケート会は大幅な黒字決算の見込みです。これを踏まえ、組織の発展的継続を

図るため、定数増を図り、組織を組み換え、攻めの事業展開を行いたいと考えています。

リトルハウスでは

工賃アップ: ネット事業・石鹸事業の販売促進に力を入れる。

事業継続のための次世代育成: 組織改組、権限と責任の明確化を行い、個人商店的運営から脱し組織的な事業体制構築を目指します。

ピアホームでは

次を担う人が見つからない場合、閉鎖の強い覚悟で、私が後10年担う決意をしました。

新非常勤の鈴木さん紹介

11月より雇用されました世話人の鈴木です。長年公務員として地域福祉に携わって参り、これを契機に自立支援・活動に関心を深める機会を得たことに感謝致しています。まだ、日が浅いのですが、「ピアホーム」の皆様に一層関心を深め、パートナーシップを築きお役にたてるよう努めたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

今後のスケジュール

<1月31日> 施設間交流と勉強会